

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.16 平成26年10月30日発行
発行責任者:高 一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org

メールは
こちら→



査定昇給制度がスタート
制度を理解したうえで
よりよい民主的學校づくりを

私たちはこれまで、査定昇給制度の課題について学び、声をあげる取り組みをしてきました。道教組・高教組が道教委に対して交渉を行ってきたことは、宗谷情報でもお伝えしてきたところです。

このたび、こうした交渉を終え、正式に査定昇給制度の運用が開始されます。宗谷では、11月に入ると校長先生から各職場で説明が行われると思われま

査定昇給 Q & A

Q どうして「査定昇給制度」を導入するの？

道教委は、次の3点を理由に挙げています。

①職員の士気向上を図る。②組織の活性化を図る。③学校の教育目標の達成を図る。
本当にこれらの目的が実現しうるのか、確かめていくことが私たちには求められています。

Q 査定って、何に影響するの？

年に一度の昇給に影響します。私たちの給料の計算のもとになる「号俸」は年に一度、1月1日に昇給します。その昇給の幅について、査定による成績のランクごとに差をつけようというのが「査定昇給制度」です。

評語	基準	55歳未満	55歳以上	配分
極めて良好 (A)	当分の間は適用されない			
特に良好 (B)	高く評価できる成果を挙げ、かつ評定要素の細区分毎の評定に「b」が1項目以上 など	6号俸	1号俸	30%
良好 (C)	B・D・E 評価に該当しない場合	4号俸	零	
やや良好でない (D)	懲戒処分を受けた場合 (戒告、減給3月以下に限る) 4分の1以上勤務していない場合など	2号俸	零	左記の条件に当てはまる場合
良好でない (E)	停職、減給 (Dに該当する場合を除く) を受けた場合 2分の1以上勤務していない場合 など	零	零	

Q 対象になる職種は？

次の職種・立場のみなさんは対象になりません。

- ・非常勤職員、臨時職員 (市町村費教員 [稚内の市費教員や支援員など、教諭の給料表によらない職種])
- ・再任用職員
- ・最高号俸に達している職員 (教諭の「2-149」号俸など)
- 期限付教諭は査定はされるが「良好 (C)」にしかならない。
- 休んでいる教職員 (育休・病休など) は勤務した期間により「D・E」に。

Q 私たちのことを誰が評価するの？

勤勉手当の査定と同じです。一般の教職員なら第一次評価者は「教頭先生」、第二次評価者は「校長先生」です。

Q 「特に良好(B)」の「30%」ってどうやって決まるの？

各教育局ごとに、市町村単位で人数が配分されます。当面の間は、初任層 (8年目未満) と、それ以外を合わせて考えます。制度の目的である「職員の士気向上」のため、若年層 (35歳以下) に重点的に配分されます。

Q 判定期間はいつからいつまで？

例えば、2016年1月1日の昇給なら「2014年12月2日から2015年12月1日」の1年間。

◆2015年1月1日昇給は、2014年1月1日~12月1日を判定期間としながら、実質的には今後1か月程度しか判定期間がないこととなります。

Q どうやって「あなたはこの評価」って通知されるの？

B・D・E 評価を受けた方には口頭で説明されます。(前年との号俸の差を見れば、わかります)

Q BとC 評定の、支給額の差は？

30代前半で、査定による差だけで86,000円。号俸の差は、へき地手当などの諸手当にも反映するので、実際はもっと差が出てきます。

制度を知ろう。

疑問・質問を出し合おう。

まだ夏だった頃、査定昇給制度の案が示されました。このとき、私たちは疑問・質問は公的に言うことができませんでした (組合を通して交渉というかたちで解決はできましたがすべてではないと思います)。改めて、今回の説明をもとに分会で、職場で、査定昇給制度について学び合ひましょう。質問や疑問を出し合ひましょう。

民主的學校づくりをすすめてみましょう。

宗谷教職員組合は、査定昇給制度がもたらす非教育性や、教職員の協力・共同の関係との矛盾について訴えてきました。

査定昇給制度は、評価する側 (私たち一般の教職員では、教頭先生・校長先生) にとっても、評価をされる私たちにとっても「しんどさ」や「あずましくなさ」がついてまわります。そして、こうしたもやもやが職員室にはびこることが、子どもたちに悪影響を与えてしまうことだってあるかもしれません。

そうならないためにも、民主的學校づくりを大切にしたいのです。授業づくりや集団づくり、そして學校づくりを民主的な営みにすることを求め合うことが、これまで以上に大切になります。

職場での教育実践お話し会 (勉強会) をはじめとした職場づくりの取り組みや、街ぐるみの教育連携など、可能性はたくさんあります。気遣いと心配りで、職場づくりを組織しませんか？

子どもたちのために

教育条件の改善を訴えよう!

署名はチカラ

教育全国署名で文科省を激励しよう



漸10/23

一〇月二十三日の北海道新聞。びつくりする見出しがありました。財務省が「三十五人学級をやめて四〇人学級を復活させる」というものです。

財務省の考え方

国のお役所は秋のこの時期に「新しい年の予算の見積もり」をします（「概算要求」といいます）。文科科学省は、教職員定数や教育施策をもとにそれらを予

算化し、財務省と話し合いを行います。

毎年、文科科学省が提出する概算要求には、財務省の「ケチ」がつきまします。数年前にも「少人数学級のメリットがデータとして証明されていない」とケチがつかれました。これについては、学力・学習状況調査の考察やつと文科省がやつと証明したところでした。それにもかかわらず、財務省は「四〇人学級を復活させる」ことを文科科学省に

求めました。これは、限られた国家予算を、未来ある子どもたちには使われないと宣言しているかのように見えてしまいます。文科科学省は、政府の方針に沿って教育施策を考えます。今は「教職員定数を少しずつ減らす」という方針があるため、充分とは言えないながらも教育的な方策を考えます。春に取り組んだ「えがお署名」は、こうした文科科学省の考えを後押しし激励する役割があります。

リレーエッセイ「言の葉」④

青年部「オトナの宿泊学習」に参加して

9月の青年部の企画に参加させていただき、ありがとうございます。私は、自分が勤めている地域以外の先生方と交流を深めることができ、とても楽しかったです。宗谷管内以外の先生方と話していると、先生方の悩みで共通する部分や、新たな発見が多かったです。

最初は、“ろくろ体験ができる”ところにひかれて参加しようと思いました。知っている人が一人もない中、初対面の人に囲まれてのスタートでした。しかし、一緒に行動しているうちに緊張もほぐれてきました。

自分で一歩動きはじめたことで、人とのつながりが広がり、参加して良かったなあと思いました。学校や地域が違ってても、同じ教師として、一緒に助け合ったり話ができる仲間が素敵だなあと感じました。

利尻町立鷺泊小学校／黒岩 秋穂



全道の若者の交流になりました!

青年部学習会と臨教部「教採学習会」がリニューアル

第1回

先生とたまごのがっこ

これまで、青年部が学習会「学び座」を毎月一度、臨時教職員部が、秋から冬にかけて教採学習会を毎月一度行ってきました。

そこで、これらをリニューアルして、若い先生と先生をめぐすみなさんが一緒に集い学び合える学習会「先生とたまごのがっこ（通称「センたま」）」をスタートさせます。教員採用をめぐす先生方にとっては、教採の学習や先生になるということについて深められる内容を、若い先生方にとっては教育実践に深みを持たせられるような学習会にしたいと思っています。ぜひ、みんなで学び合いましょ。

日時 11月29日(土) 14:00~16:30
場所 稚内北星学園大学 401教室
内容 教採合格体験記
先生という仕事について語ろう
申込み info@soya-teachers.org まで

宗谷の四季

全教の中央委員会に、道教組の代議員として参加してきました。全教には全国に五十の組織があります。組合は小中学校と高校、地域によっては特別支援学校と別れているので、こんなにたくさんの組合が結集しているわけです。

中央委員会では、西日本の組合の元気よすがが際立っていました。「組織拡大が100人」（山口県高教組）など、元気を発言を聞きました。

元気を出したことに「組織拡大」があります。先日、「昔、関西で営業をやった」というベテランの先生が教えてくれました。「営業で大事なものは、売りたい商品をどれだけ愛しているかや」「よく言われたのは『クロージング』やなあ!」。営業の業界では、契約に結び付くまでのトークのことを「クロージング」というそうです。

組織拡大にもなんだか通ずるなあと思いつつ聞きました。「宗谷教組ってこんな組合でね。だからあなたに入りたいんだ。」

なかなか声かけは難しいものですが、みんなで取り組みたいものです。

毎年春に、他管異動や管理職承認、脱退などで組合員数は減ります。今年はその「減った数」を回復できるくらい組織拡大があります。あともうちょっとで、組合員増に転じます。ぜひ、あなたもこの先生に「宗谷教組に入らないか?」という声をかけてみましょう。

秋から冬へ。外は寒くなりますが、宗谷教組はあったかい組合づくりを進めましょ。